

令和5年度 学校経営ビジョン

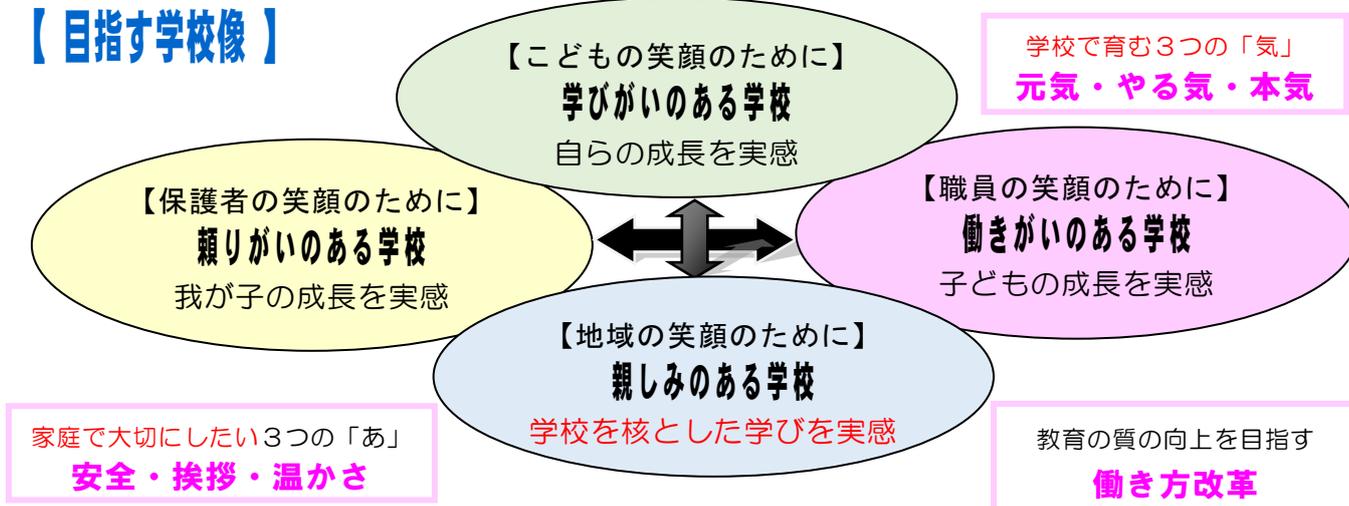
令和5年度 後期

【学校教育目標】 「ひびき合い 輝く子」

- かしこく（知）：主体的に学び、基礎的な学力を確実に身に付ける子
- やさしく（徳）：自他のよさを認め、互いに高め合う子
- たくましく（体）：健康と安全を常に意識し、進んで体力向上に励む子

【学校経営の基本方針】 「子どもの成長が実感できる学校づくり=笑楽校」

【目指す学校像】



【目指す児童像と資質・能力の育成を目指した重点目標】

笑顔：自分や自分と関わる全ての人の主観的ウェルビーイング(幸福)の実現を目指す力
 活力：自分の将来の夢や変化する社会に主体的に向き合い、元気・やる気・本気で突き進む力

「笑顔と活力で能動的に学び続ける子どもの育成」

かしこく（知） 【重点1：自分の考えを持つ力】 【重点2：自分を表現する力】	やさしく（徳） 【重点3：人を大切にする力】	たくましく（体） 【重点4：チャレンジする力】
【たった一つの約束】 「自分がされて嫌なことは、他の人にも言わない・やらない」		
◇自分の考えをもつ力の育成 ・考えなくなる授業づくり ・指導と評価の一体化による一人も取り残さない授業づくり ◇自分を表現する力の育成 ・「分からない、出来ない」と安心して言える、心理的安全性の向上を図る学年・学級経営の充実 ・多様な他者と協働し、自分を表現する場面の創出と充実	◇人を大切にする力の育成 ・議論したくなる、特別の教科道徳の授業づくり ・いじめの被害者、加害者、傍観者を生まない集団の育成 ・言動や考え方等の多様性を認め合う集団の育成に資する道徳教育の充実 ・全教育活動を通して、自己と他者のウェルビーイングの実現を考え、主体的に行動する場面の創出と充実	◇チャレンジする力の育成 ・運動やスポーツを「する、見る、支える、知る」等、運動やスポーツと親しむ多様な場面の創出と充実 ・心身の健康の維持、向上を目指し、主体的に考え、実践する場面の創出と充実 ・よりよさを求め、工夫と改善を繰り返しながら、主体的にチャレンジする場面の創出と充実

学びの保証

人権の保障

安心・安全の保証

【家庭教育の重点目標】

安全：危機対応力	挨拶：コミュニケーション力	温かさ：共感的理解
☆日常生活の中の感染症対策 →手洗い、検温 ☆心と体の免疫力の向上 →早寝、早起き、朝ご飯 ☆子どもが自己の安全を確保する危機対応力の育成 →自らの安全確保に資する判断力・対応力の育成	☆日常生活の中の挨拶 →起床、就寝、食事、外出、帰宅、感謝、お礼、謝罪 ☆家庭における食育の充実 →食を通して社会や家族とつながる力の育成 ☆生活の中にある疑問・不思議を発見する力の育成	☆環境づくり →メディア利用に関するルールの設定と利用状況に応じたルールの見直し ☆傾聴・称賛 →子どもの考えを最後まで聞いて、考えの理由を尊重する共感的理解